

さきもり
水稻の『防人』登場。

高密度は種にも使えます！
は種時から移植当日まで使用可能。

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

防人[®]
さきもり

箱粒剤

ピラキサルトTM
含有!!
WCS用稲[※]にも
使えます!!

ウンカ類・コブノメイガ・いもち病から長期間稲を守ります。



トビロウンカ



ヒメトビウンカ



セジロウンカ



コブノメイガ



いもち病

※「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に掲載

Pyrexalt[®] active
powered by
RYNAXYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT

防人[®]は協友アグリ(株)の登録商標 農林水産省登録 第24129号

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

RYNAXYPYR[®]はFMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標



特長一

1剤で播種時～移植時処理が可能。

特長二

いもち病に高い効果。

特長三

初期害虫を始め、ウンカ類・チョウ目害虫へ高い効果。

農林水産省登録 第24129号

適用病害虫および使用方法

有効成分：クロラントラニプロール…0.75% トリフルメゾピリム…0.75% イソチアニル…2.0%

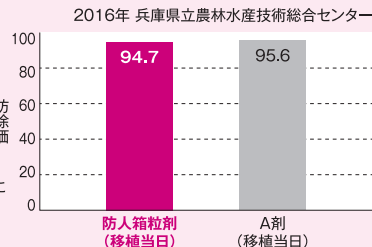
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農業の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農業の総使用回数	イソチアニルを含む農業の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ フタオビコヤガ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm) (使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する	1回	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3cm) (使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g						
稲	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ	1kg/10a	移植時		側条施用			3回以内 (直播では種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)

2021年11月現在の登録内容

試験成績

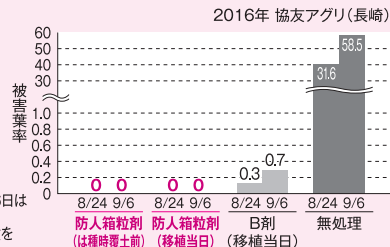
いもち病

品 種:キヌヒカリ
は 種 日:5月11日
移 植 日:6月6日
処 理 日:6月6日(移植当日)
発生状況:中発生(接種)
調 査 日:8月2日(移植57日後)
調査方法:
各区30株について8月2日(移植57日後)に
上位3葉の病斑数を調査した。



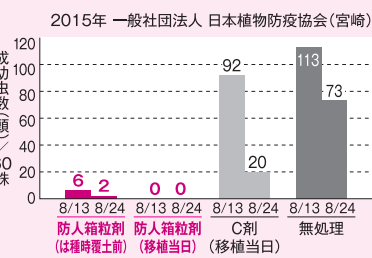
コブノメイガ

品 種:ヒノヒカリ
は 種 日:5月24日
移 植 日:6月18日
処 理 日:5月24日(は種時覆土前)
6月18日(移植当日)
発生状況:多発生
調 査 日:8月24日(移植67日後)
9月6日(移植80日後)
調査方法:
各区100株3ヶ所について、上位3葉(9月6日は
上位1葉のみ)の被害葉数を調査した。
また、被害調査時に任意10株のイネの茎数を
調査し、被害率を算出した。



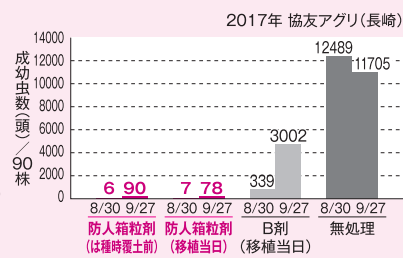
セジロウンカ

品 種:ヒノヒカリ
は 種 日:6月6日
移 植 日:6月29日
処 理 日:6月6日(は種時覆土前)
6月29日(移植当日)
発生状況:少発生
調 査 日:8月13日(移植45日後)
8月24日(移植56日後)
調査方法:
各区20株3ヶ所の粘着板払い落とし
調査を行った。



トビイロウンカ

品 種:ヒノヒカリ
は 種 日:5月21日
移 植 日:6月14日
処 理 日:5月21日(は種時覆土前)
6月14日(移植当日)
発生状況:甚発生
調 査 日:8月30日(移植77日後)
9月27日(移植105日後)
調査方法:
各区30株3ヶ所の粘着板払い落とし
調査を行った。



注意事項

〈薬効・薬害等の注意〉

- 育苗箱の上から均一に散布する場合、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 移植時側条施用に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用いてください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさの栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。

- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

〈安全使用上の注意〉

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。●空袋は放置せず適切に処理してください。

2021年11月作成 140,000 全新企画社 P1202111001